

# せってん

今年の五月に県公民館連合会第十三代会長に就任しました関戸（金沢市田上公民館）です。県公民館連合会は六十年を越える歴史があり、多くの会長が歴史をつないできましたが、この重責を担った以上は全力で山積しています。公民館の諸課題に挑戦していきたいと考えています。

会長としての初仕事は、全国公民館連合会第三回定時総会でした。全公連では、今年度の事業計画の基本を「これからの公民館に求められる基本的な方向性や役割」について学ぶことになっていきます。



## 「絆を紡ぎ、人づくり・地域づくりに貢献する公民館をめざして」

石川県公民館連合会

会長 関戸 正彦  
(石川県社会教育協会副会長)

確かに、超少子・高齢社会の進展とともに、公民館をめぐる環境も大きく変化しており、加えて、教育をめぐる環境も大きく変化し多様化されてきました。さまざまな論議が積み重ねられ、平成十八年には、教育基本法が改正され、学校・家庭・地域の連携が盛り込まれました。平成二十年には、社会教育法が改正され社会教育主事の役割と責務が明確化されました。さらに、昨年二十五年には、第二期教育振興基本計画が国会に報告されたほか、教育委員会のあり方や土曜教育も提起されています。

公民「間」、②体験や自然等との出会いの場を提供しその感性を豊かにしていく公民「感」、③もの見方や考え方に影響を与えていく公民「観」、④地域で生き、暮らし働き、支え合うために学ぶ喜びを提供する公民「歓」、⑤地域の環を強く大きくしていく公民「環」、⑥活力ある地域づくりの担い手やリーダーの幹を育てる公民「幹」としての意義があり役割があります。つまり、公民館はこれらのことを理解し大切にして学習事業や交流事業に皆で汗をかいていかなければなりません。まさに公民「汗」

でもあります。

従って、第二期教育振興基本計画の実施期間中に推進しなければならぬこととして、

一、絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習活動や体制づくりの推進

二、現代的・社会的課題に対応した学習機会及びライフステージに応じた学習機会の充実

三、社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習機会の充実

四、学習の質の保証・向上と学習成果の評価・活用の推進

五、生涯学習・社会教育の推進を支える基盤の整備

があり、すでに実施・推進している公民館や社会教育機関もあるとは存じますが、更なる努力が必要であり、社会教育機関との連携も大切にしていかなければなりません。

また、これらの取り組みと事業化にあたっては、「社会を生き抜く力の養成」「未来への飛躍を実現する人材の育成」「学びのセーフティネットの構築」「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」を大切に、公民館だからできること、公民館だからこそ為すべきことを、より明確にし、人々の絆を紡ぎ、真に安心・安全な地域社会づくりに寄与していかなければなりません。

さあ、それぞれの公民館で創意工夫を凝らした特色ある事業・活動を推進していきましょう。

# 平成26年度事業計画・予算を承認

石川県社会教育協会の平成二十六年年度理事会・総会が五月二十四日（土）午後三時四十分から県立生涯学習センターで開催されました。最初に新村会長と坂井県生涯学習課長の挨拶の後、当日、出席された本顧問から激励の言葉をいただきました。

会長からは、新年度に向けて「協会として地域との絆を深める社会活動に積極的に参加すること」、「公民館をはじめとする社会教育諸団体との連携を一層強め、社会教育の活性化に努めること」、「新会員の加入促進に努めること」及び協会七十周年をどうするかなどの発言がありました。

次に総会の前に平成二十五年度石川県社会教育協会功労者表彰が行われ、地域での社会教育活動に貢献された二名の方に新村会長から



多くの会員が参加した今年度総会

表彰状と記念品が授与されました。

また、総会に先立って事務局から役員の異動と新会員の紹介があり、代表して関戸公民館連合会長からあいさつをいただきました。

総会は、議長に盛田理事が選出された後、議事に入り、最初に平成二十五年度の事業報告、収支決算について審議が行われ、いずれも全会一致で承認されました。

次に、平成二十六年年度の事業計画の説明が行われました。

## ① 会誌発行事業

- ・「せっってん」24号
- ・「接点」62号

## ② 調査研修事業

- ・「フォーラム接点」

- ・県内4地区6カ所
- ・講演会 輪島市

## ③ 社会教育功労者表彰事業

- ・平成二十七年総会で表彰

## ④ その他

- ・大人の料理教室、男の料理教室

## （共催事業）

- ・明るい選挙推進協議会への委員参加

- ・県民大学校能登文化講座参加
- ・グッドマナーキャンペーン参加
- ・石川県生活学校大会後援
- ・マナビイフェア in 本多の森参加
- ・生涯学習県民フォーラム参加
- ・いしかわビデオ作品コンクール後援
- ・社会教育協会ホームページの充実

- ・資料等配布、関係事業の案内等

また、同時に平成二十六年年度収支予算案が説明され、審議の後、いずれも全会一致で承認されました。

最後に議長から、会長のあいさつにもあった二年後の協会七十周年に向けての事業等について各会員に対して意見を求めました。会員からは過去の周年事業では記念誌を発行している。

まだ、しばらく時間もあるのでこれからの検討課題ではないか。などの意見が出され、今年度、役員を含めた幹事会で検討することが承認されました。

**祝 平成二十六年春の叙勲**  
平成二十六年春の叙勲において本会の参与である山岸善二氏（白山市）が瑞宝単光章を受賞されました。心よりお祝い申し上げます。

## 平成二十五年年度社会教育功労者表彰

○小島 正喜氏（小松市）

☆これまでの功績

- ・小松市社会教育協会運営委員
- ・小松市梯町町内会役員
- ・絶滅動植物の保護活動、他多数の業務に精励

○今井 政子氏（白山市）

☆これまでの功績

- ・松任生活学校代表
- ・石川県生活学校連絡協議会 元石川ブロック長
- ・白山市各種女性団体連絡協議会監事、他地域活動に精励

## 平成26年度予算書

一般会計	
収入の部	
科目	予算額(円)
会費	495,000
補助金	470,000
寄付金	0
繰越金	29,753
諸収入	247
合計	995,000

支出の部	
科目	予算額(円)
事業費	705,000
会議費	105,000
事務費	172,000
予備費	3,000
繰出金	10,000
合計	995,000

特別会計	
収入の部	
科目	金額(円)
繰越金	512,996
繰入金	10,000
諸収入	104
合計	523,100

支出の部	
科目	金額(円)
事業費	0
合計	0

(三井住友信託銀行積立)

## 平成25年度決算書

一般会計	
収入の部	
科目	決算額(円)
会費	465,000
補助金	470,000
寄付金	20,000
繰越金	29,095
諸収入	81
合計	984,176

支出の部	
科目	決算額(円)
事業費	679,660
会議費	89,600
事務費	175,163
繰出金	10,000
合計	954,423

特別会計	
収入の部	
科目	金額(円)
繰越金	502,895
繰入金	10,000
諸収入	101
合計	512,996

支出の部	
科目	金額(円)
事業費	0
合計	0

(三井住友信託銀行積立)

講演会開催

県教育委員会の支援を受けて実施している社会教育協会の講演会も今年度で三回目を迎えました。今回は五月一七日(土)に輪島市文化会館で輪島市教育委員会及び輪島市公民館連合会の共催を得て行いました。講演会に先立って県立輪島高校吹奏楽部に演奏をお願いしました。演奏は十分でしたが、大変迫力ある演奏で会場も大いに盛り上がりました。

講演は、NHKテレビ「生活笑百科」でお馴染みの三瀬顕弁護士をお迎えし、演題を「身近な生活笑百科」豊かな人生のために」として行いました。

会場では多くの市民の方が参加し、時にはユーモアあふれる話や、また、一方で現在の社会問題等を取り上げ、集まった人達の意見に真剣に耳を傾けながら、身振り手振りやで弁護士としての考えを話されていた。参加された方々も時間を忘れ大変有意義な一時を過ごすことができたのではないかと思います。



約120人の市民が参加した演奏会と講演会

平成二十五年度  
二十六年度

社会教育協会・役員一覧 (〇印は新任)

顧問

会長  
副会長

常任理事  
郡市理事

- 本本 利夫 (県議会議員)
- 小寺 昭久 (前副会長)
- 坂井 芳子 (県教委)
- 旭 直樹 (加賀市)
- 山岸 善二 (白山市)
- 道端孫左衛門 (金沢市)
- 鈴木 庸雄 (鹿島郡)
- 宮田 一男 (七尾市)
- 新村 健了 (県教委)
- 村澤 勉 (県生涯セ)
- 関戸 正彦 (県公連)
- 勝木 育夫 (小松市)
- 土室 完 (金沢市)
- 濱田 繁 (鹿島郡)
- 梅田 和秀 (金沢市)
- 上田 政憲 (加賀市)
- 白村 浩邦 (小松市)
- 清丸 亮一 (小松市)
- 中嶋 敏一 (能美市)
- 盛田 義弘 (白山市)
- 本多 郁夫 (野々市市)
- 山本 武之 (金沢市)
- 作本 邦彦 (金沢市)
- 小原 晴樹 (金沢市)
- 梶本 逸子 (金沢市)
- 坂本 清 (かほく市)
- 坪内 健一 (河北郡)
- 川口 絹子 (羽咋市)
- 廣橋 賢 (羽咋郡)
- 林 榮一 (鹿島郡)
- 蔵 定伸 (七尾市)
- 堀岡 啓吾 (七尾市)
- 竹野 博正 (鳳珠郡)
- 左古 隆 (輪島市)
- 成之坊 良輔 (珠洲市)

団体理事

監事

幹事長  
幹事

- 西 清人 (県図書協)
- 浅野 秀重 (金大地連セ)
- 正木 明 (県子連)
- 〇釜谷美智子 (県児童館連)
- 林 貴江 (県新生活協)
- 藤多 典子 (県婦協)
- 〇北川 和也 (県PTA連)
- 宮 義一 (県青協)
- 野田 政弘 (BS県連)
- 山本 紀子 (講師の会)
- 川部 謙三 (生涯学習センターの会)
- 村戸 建二 (ピアオクランナー)
- 中川 泰邦 (金沢市)
- 村上 吉郎 (宝達志水町)
- 森澤 哲雄 (県生涯セ)
- 〇清水 茂 (県教委)
- 石江 政信 (県公連)
- 木原 宗信 (元県生涯セ)
- 湊 義昌 (元県生涯セ)
- 安達 俊夫 (県生涯セ)

〇新規加入会員(順不同)

- 米澤昭午 (金沢市) 表 純一 (白山市)
- 山本 進 (七尾市) 徳丸京子 (金沢市)
- 館 清 (金沢市) 川岸典子 (かほく市)
- 滝口恵美子 (加賀市) 鹿野利春 (金沢市)
- 中野幸司 (加賀市) 吉田亮一 (白山市)
- 橋本博文 (加賀市) 長田千代子 (白山市)
- 奥野美彌子 (加賀市) 高田信子 (白山市)
- 畑島和美 (加賀市) 浦 澄子 (金沢市)
- 網本弘志 (白山市) 水上洋子 (白山市)

ご加入いただき有り難うございました。協会の活性化に向けてお力添えをお願いします。

社教春秋

七月・願い事

七月の伝統行事といえは「七夕」。いしかわ子ども交流センターでは正面玄関に大きな笹飾りが並べられ、子どもたちが願い事を書いた短冊が枝々に吊るされている。

当センターには石川県児童館連絡協議会事務局が置かれ、百十カ所を数える県内の児童館を結んでいる。事業では、児童の健全育成のための研修に力を入れている。

「子ども・子育て支援新制度」の本格スタートに先立って、現在各市町が主体となつて条例づくりが進められているようだ。「保育の場を増やして子育てしやすい、働きやすい社会づくりを進める」との国の行政指針に基づいて、保育施設等の整備が進められようとしている。県内の各児童館が地域に根ざして取り組んできた児童健全育成の諸活動も、こうした動きに間接的にも生かされるよう願ってやまない。

ところで、いしかわ子ども交流センターに設置のプラネタリウム「百之星」には七夕のシーズン中、多数の園児・児童が入館し盛況である。巨大なドーム型スクリーンに投射される夏の星座を見上げ、子どもたちは「織り姫星を」と座のベガ、彦星は「わし座のアルタイル」と大きな声で指差す。物知りだ。「ロケットにのっとうちゅうへいきたい」と短冊には願いが書かれるだろうか。

いしかわ子ども交流センター長  
釜谷 美智子  
(石川県社会教育協会理事)



# 展望

## 豊かなつながりが、社会全体の教育力を高めます！

石川県教育委員会では、近年の教育をめぐる様々な課題に対応するため、本県教育の総合的な指針である「石川の教育振興基本計画」に基づき、様々な諸施策を積極的に展開していきます。

とりわけ、同計画の基本目標の一つに掲げる「社会全体の教育力の向上」には、社会教育協会の皆様にもご協力をいただいている「グッドマナーキャンペーン」や「親子の手紙一筆啓上」「家庭・地域でのいじめ・不登校等対策事業」など、学校・家庭・地域が連携した諸事業を重点的に取り組んでいます。

### ○新規事業について

また今年度は、これら従来の事業に加え、以下の三つの新規事業に取り組んでいます。

一つ目は、親の学びの機会を支援する「**肝心かなめの一年生塾開催支援事業**」です。

この事業は、子どもの小学校入学を控えて不安や悩みを抱えがちな保護者を対象に、成長や発達段階に応じた親の役割・子どもとの関わり方などを、発達脳科学をもとに分かりやすく説明した親学びに関する冊子を配付し、それを利用した親学び講座を県内全ての小学校での開催に向けた支援を行うことで、家庭の教育力の向上をめざすものです。

こうした取組を通して、地域において子育てを気軽に相談できるネットワークの広がりも期待しています。二つ目は、親子でインターネット

の適正利用について考える「**親子のホッとネット大作戦事業**」です。

ご承知のとおり、近年、無線LANやスマートフォン等電子情報端末機器の普及に伴い、容易にインターネットが利用できる環境が整ってききました。その一方で、ネット利用による傷害・恐喝事件や犯罪被害、書き込みによるいじめ、更にはネット依存など、深刻なトラブルも後を絶ちません。インターネット利用に潜む危険性から子どもたちを守るためには、子どもたちだけではなく、保護者自身がインターネットについて学び、正しい知識をもつことが大切です。本事業は、ネット利用についてのパンフレットの配付や講座の開催を通じて、PTAが家庭でのルールづくりや日常の子どもの見守りなどに取り組む活動を支援するものです。こうした取組を通じて、保護者が子どもと向き合い、日々の見守りを進めることで、子どもたちをネットの危険性から守っていきたいと考えています。

三つ目は、国の委託事業となる「**子どもときめき交流体験事業**」です。この事業は、社会環境の変化と共に、子どもたちの体験活動の不足が指摘される中、県の社会教育委員の協議が、昨年度「体験活動の推進」をテーマに協議したことを受けて国に事業申請したものです。この事業では、生活環境が異なる二つの地域をステージにして、それぞれの公民館が中心となり、子どもたちを相互に受け入れ、地域の特性を生かした様々な体験活動を通して交流します。その中で、子どもたちに郷土愛を育むとともに、ふるさと石川の素晴らしさを再発見することにより、豊かな人間性を育みた

いと考えています。なお今年度は、加賀地区と能登地区の市町の子どもたちの体験事業を予定しています。

### ○互助・共助の理念で

このように、子どもたちをめぐる現代的な課題に対応すべく、学校・家庭・地域が連携して取り組むことで、子どもを育む豊かなつながりが生まれ、社会全体の教育力も向上していくものと考えます。折しも、国の第2期教育基本計画では、その基本的方向性の一つに、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成」社会が人を育み、人が社会をつくる好循環」を掲げ、「互助・共助」の理念の下、協働して課題に取り組んでいくことの重要性を指摘しています。

社会教育協会の皆様方には、今後とも、これら国の指針や県の施策等へのご理解とご協力を是非ともお願いいたします。

(石川県教育委員会生涯学習課)

課参事 清水 茂

## 人事往来

(○印は新任)

- 課長 坂井 芳子
- 課参事兼課長補佐 ○辻江 冬樹
- 庶務企画グループ 山田 勝己
- 社会教育・心の教育グループ 清水 茂
- 社会教育担当 課参事 ○網本 弘志
- 青少年家庭教育担当 課長補佐 ○清水由美子
- 心の教育担当 課長補佐 笹山 明夫
- 小松教育事務所長 ○高橋 正英
- 金沢教育事務所長 ○田村 敏和
- 中能登教育事務所長 ○升屋 和夫
- 奥能登教育事務所長 角間 邦夫

## 県立生涯学習センター

- 館長(再) 村澤 勉
- 副館長(再) 森澤 哲雄
- 総務グループ 松原 英樹
- 社会教育グループ 安達 亮一
- 学習情報グループ 担当課長(再) 安達 俊夫
- 担当課長(再) 石野 周

- 分室長(兼務) 角間 邦夫
- 担当課長(再) 坂尻 忠秀
- 担当課長(再) 左古 龍隆
- 担当課長(再) 南 龍保
- 西 清人
- 橋本 正哉
- 担当課長(再) 濱野 虎次
- 企画協力グループ 太原 倫子
- 主幹(G.L.) 高嶋 厚子
- 利用サービスグループ 主幹(G.L.) 土田 正敏

- 主幹(G.L.) 尾張 勝也
- 白山青年の家 土田 正敏
- 課長補佐 原田 浩喜
- 鹿島少年自然の家 寺下 友敬
- 能登少年自然の家 石丸 信一
- 課長補佐 寺下 友敬
- 自然史資料館 専門員 石丸 信一

## あとがき

「せつてん」をお届けします。今号では新会員の方々を紹介させていただきました。多くの方に入会いただき感謝申し上げます。

・十月に県のアンテナショップ「いわかわ百万石物語・江戸本店」が東京・銀座でオープンします。いしかわの魅力発信に大きな期待が寄せられます。

・事務局では機関誌や事業等について皆様からのご意見をお待ちしております。(森澤)